

## 令和8年度「脳卒中看護セミナー」実施要領

### テーマ：「見え方の障害」の理解とケア

#### 1. 研修目的

脳卒中後遺症における「見え方の障害」には、①盲と称される視野の障害と、②失認と称される視空間認識の障害がある。いずれの病巣も局所的であることが多く、運動麻痺や言語障害を伴わない場合もしばしばある。本人も他者も理解しにくい、生活の困りごとが起こる「見え方の障害」について理解を深めることで、臨床の看護ケア向上に寄与する。

#### 2. 対象

脳卒中患者に関わる看護職（専門病院、総合病院、訪問看護師含む）  
経験年数は問わない、脳疾患病棟勤務でなくてもよい

#### 3. 学習目標

- ①見え方に障害を及ぼす病巣と症状がわかる
- ②見え方の障害がある患者への社会的支援がわかる
- ③失認の評価とアプローチ方法がわかる

#### 4. 開催日時

令和8年7月29日（水）10:30～16:00

#### 5. 場所

国立循環器病研究センター エントランス棟 3階講堂

#### 6. 研修方法

対面方式（講義、グループワーク）

#### 7. 受講料 1日間 4,400円（税込み）

申し込みをされた方には、後日メールで振り込み先をお知らせいたします。  
入金後の払い戻しはできませんのでご承知おきください。

#### 8. 募集人数 80名

#### 9. その他：研修の録画・録音・撮影・詳細内容のSNSへの投稿はご遠慮ください。

## 10.タイムスケジュール

時間	内容	担当者
10:30-10:35	オリエンテーション	SCU 看護師長 樋口 泰子
10:35-11:15	特別講義：妊娠と脳卒中	産婦人科部長 医師 吉松 淳
11:15-11:55	講義：見え方の障害を起こす病巣と症状	脳卒中集中治療科 医師 岩本 創哉
11:55-12:00	質疑応答	
12:00-13:00	休憩	
13:00-13:40	講義：見え方に障害がある人の評価とリハビリテーション	作業療法士 石樽 尚仁 菅井 賢
13:40-14:10	講義：急性期の失認患者へのアプローチ	SCU 看護師長 樋口 泰子
14:10-14:20	休憩	
14:20-15:50	演習、ワークショップ	SCU 看護師長 樋口 泰子 SCU 副看護師長 田中 美和子
15:50-16:00	まとめ 閉会	SCU 看護師長 樋口 泰子

※セミナー終了後、希望者を対象に病院見学（約 30 分）を行います。

### 【問い合わせ先】

E-mail : [kangobu-seminar@ncvc.go.jp](mailto:kangobu-seminar@ncvc.go.jp)

国立循環器病研究センター看護部：担当 浅井

2026年

# 脳卒中 看護 セミナー

7/29  
(水)

10:30~16:00※  
(10:00受付開始)

## --見え方の障害の理解とケア--

“見えない”と“認識できない”の違いを深掘り理解！

### 内容

- 講義、グループワーク
- ・視野障害と失認の違い
- ・リハビリと社会的支援
- ・失認のアプローチ方法

### 講師

医師  
作業療法士  
看護師

### 定員

80名

### 会場

国立循環器病研究センター講堂

※セミナー終了後、希望者を対象に  
病院見学(約30分)を行います。



主催：国立循環器病研究センター看護部

問い合わせ先：[kangobu-seminar@ncvc.go.jp](mailto:kangobu-seminar@ncvc.go.jp)